

# ファムシクロビル錠 250mg 「サワイ」

## ● 服用ガイド ●

本剤は、腎機能が低下している患者さん、血液透析を受けている患者さんでは、投与間隔をあけて減量して投与する必要があります。

### 医師、薬剤師のみなさまへ

ファムシクロビルは、体内でペンシクロビルとなり、主に腎臓から排泄される薬剤です。腎機能が低下している患者さん（高齢者を含む）や透析を受けている患者さんでは、本剤の排泄が遅延し、ペンシクロビルの高い血中濃度が持続するおそれがあります。そのため、投与量および投与間隔の調節が必要です。これらの患者さんに本剤を投与する場合には、問診や、必要に応じて腎機能検査を実施してください。

腎機能が低下した患者さんには、以下の「腎機能に応じた本剤の減量の目安」を参考に投与してください。

#### 腎機能障害患者：

腎機能障害患者では投与間隔をあけて減量することが望ましい。  
腎機能に応じた本剤の投与量及び投与間隔の目安は下表のとおりである。

腎機能に応じた本剤の減量の目安<sup>注)</sup>

|                     |       | 単純疱疹         |             | 带状疱疹         |
|---------------------|-------|--------------|-------------|--------------|
| 通常用法・用量             |       | 1回250mg 1日3回 | 1回1000mgを2回 | 1回500mg 1日3回 |
| クレアチニンクリアランス (mL/分) | ≥60   | 1回250mg 1日3回 | 1回1000mgを2回 | 1回500mg 1日3回 |
|                     | 40-59 |              | 1回500mgを2回  | 1回500mg 1日2回 |
|                     | 20-39 | 1回250mg 1日2回 | 500mg単回     | 1回500mg 1日1回 |
|                     | <20   | 1回250mg 1日1回 | 250mg単回     | 1回250mg 1日1回 |

注) 外国人における成績をもとに設定した。

#### 血液透析患者：

血液透析患者には本剤 250mg を透析直後に投与する。なお、次回透析前に追加投与は行わない。

# 【重大な副作用について】

ファムシクロビルにおいて下記の重大な副作用があらわれることがあるので、投与期間中は患者さんの観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行ってください。

1. 精神神経症状：錯乱、幻覚、意識消失、痙攣、せん妄、脳症、意識障害（昏睡）、てんかん発作など
2. 重篤な皮膚障害：中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis: TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、多形紅斑など
3. 急性腎障害
4. 横紋筋融解症：筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇
5. ショック、アナフィラキシー
6. 汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、血小板減少性紫斑病
7. 呼吸抑制
8. 間質性肺炎
9. 肝炎、肝機能障害、黄疸
10. 急性膵炎

---

本剤の使用に際し、『効能又は効果、用法及び用量、用法及び用量に関連する注意、禁忌を含む注意事項等情報』等は製品電子添文をご参照ください。

---

# ファムシクロビル錠250mg「サワイ」を 服用する患者さんへ

このお薬は、たんじゅんほうしん単純疱疹とたいじょうほうしん帯状疱疹の原因となっているウイルスの増殖を抑えます。服用してから効果があらわれるまでに数日かかることがあります。ご自身の判断で飲む量をかえたり、中止したりしないで、医師の指示どおりに服用してください。

## 服用前の注意点

次に該当する場合には、このお薬を服用する前に、医師・薬剤師の先生にご相談ください。

- ・腎臓が悪いと言われたことがある
- ・透析を受けている

## 服用中の注意点

このお薬を服用した後、次のような症状があらわれたら、すぐに医療機関を受診してください。

- ・考えがまとまらない、判断や考えがおかしくなる
- ・幻覚（ないものが見える）・幻聴（誰もいないのに話し声や物音が聞こえる）
- ・意識がなくなる
- ・けいれん痙攣がおきる
- ・高熱（38℃以上）を伴い、目の充血や口のただれが出てきた
- ・（患部とは別に）広範囲に発疹（ぶつぶつや赤い斑点）が出てきた
- ・尿量が減った、または尿がほとんど出ない
- ・むくみが出た
- ・赤褐色の尿が出た
- ・手足・肩・腰などの筋肉痛
- ・脱力感（手足に力が入らない）
- ・蕁麻疹がでた、急に血圧が低下した、息苦しい

その他、気になる症状があらわれた場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

〈裏面も必ずご覧ください〉

## その他の注意点

---

### ⚠ 服用中は、普段より多めに水分をとるようにしましょう

このお薬は腎臓から排泄されるお薬です。そのため、水分を多くとることで、腎臓からお薬が排泄されやすくなります。

注) 水分の摂取を制限されている患者さんは、医師にご相談ください。

### ⚠ なるべく安静にしましょう

睡眠と栄養を十分にとり、安静を心がけましょう。

### ⚠ 水ぶくれやかさぶたにはなるべく触れないように気をつけましょう

患部を触った後は石けんで手をきれいに洗いましょう。

### ⚠ 帯状疱疹の患者さんは、患部を冷やさないようにしましょう

冷えると痛みがひどくなります。できるだけ患部を温めて血行をよくしましょう。

### ⚠ 帯状疱疹の患者さんは、症状が出ている間は乳幼児・小児には近づかないようにしましょう

水ぼうそうにかかったことのない乳幼児・小児に、水ぼうそうを発症させる可能性があります。

### ⚠ 単純疱疹の患者さんは、症状が出ている間は他者との接触を控えましょう

単純疱疹のウイルスは接触により感染します。

### ⚠ 自動車の運転など、危険を伴う機械の操作を行う場合には十分に注意しましょう

意識がなくなったり、意識がもうろうとしたり、めまいなどの副作用が起きる場合があります。



専用アプリ「添文ナビ」で読み取ることで、  
電子添文を閲覧できます。